

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



都留市立禾生第一小学校

栄養教諭 澁谷圭吾

教員歴7年

滋賀県出身

◆学校の先生になった理由

高校時代、部活動に取り組む中で栄養面で壁にぶつかったことがきっかけで管理栄養士を志し、管理栄養士養成課程のある大学へ進学しました。大学で学びを深め、子どもたちが自分自身で栄養面の課題について解決することができるようになってほしいと思い、子どもたちに給食を通じて指導できる栄養教諭を目指しました。国家試験に向けての勉強と教職課程を両立することは大変でしたが、子どもに関わりながら指導する今の職はとても充実しています。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

自分の考えた献立が「調理員」さんの手によって形になり、その献立を子どもたちがおいしく食べている様子を見ると嬉しくなります。給食を通して食に関する指導を進めていくので、子どもたちの苦手な食材も使用します。味付けに工夫が足りず残ってしまい悩むこともあります。子どもたちへ声掛けをして、食べてくれるととても嬉しいです。さらに指導した内容が実生活で活かされている場面に遭遇すると、仕事の成果を感じることができ、充実感を得ることができます。子どもたちに身近な「食」だからこそそのインプット・アウトプットが見えやすいのも嬉しい点です。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

修学旅行前の6年生にビュッフェでの注意点について授業を行いました。正直なところ修学旅行ですし、指導したことはそこまで生かされないのではと思っていたのですが、修学旅行から帰ってきた6年生の先生から「先生の指導のおかげで子どもたちはしっかり意識してビュッフェを楽しんでいました。」と聞き、指導が生かされて、子どもたちが自分の体のために意識して行動していたことに感動しました。

◆学校の先生として心がけていること

食に関する専門家として、適切な指導・的確なアドバイスができるように常に学び続け、指導内容・指導方法を見直し、一人一人の子どもに向き合って寄り添える栄養教諭を目指し、日々職務にあたっています。栄養学はまだまだ研究が進んでいる為、古い内容にならないように常に新しい内容をキャッチできるように心がけています。

また栄養教諭だからといって、栄養・給食のことだけにならないよう、子どもたちの先生として、お手本となる行動（あいさつや声掛け）をし、時には厳しく生徒指導を行ったりして、子どもたちの身近な存在になれるように日々過ごしています。



◆初任者の頃との違い（成長したこと）

最初のころは給食管理をすることで精一杯になっており、思い描いた食に関する指導ができず苦しんでいたと思います。だんだんと自分の中でルーティンができ、食に関する指導も様々な取組ができるようになってきました。とは言ってもまだまだ私も自己研鑽が足りないと感じています。栄養学の学び直しをしたり、学担の先生方の授業も見たりしながら日々勉強しています。

◆勤務校が変わって

当たり前のことですが、勤務校が変わると子どもや保護者の様子や雰囲気さがらりと変わります。最初はその違いに戸惑いますが、自己紹介をしながら子どもたちの前に立っています。特に栄養教諭は全校配置ではないため、まずは自分の名前と「一体何の先生なんだろう？」という点をしっかりわかってもらえないと指導が難しいと思っています。自分の勤務する学校の子どもたちが健康で成長していくことができるよう、指導がしっかりできる信頼関係づくりに努めています。

◆澁谷圭吾先生の1日

出勤	8:00頃に出勤して、当日の献立や食材の確認を行います。
給食室の衛生管理・調理指導・調理員との打ち合わせ	調理指導・衛生指導を行います。切り方や味、各クラスへの配食量など調理員さんと確認します。調理員さんと翌日の献立について打ち合わせを行います。事務仕事(献立作成・発注書等)も行います。
給食指導	給食の配膳や給食の量、食物アレルギー対応等を、教室を回りながら様子を見ます。その後、各教室に入り、食に関する指導(その日の献立にちなんだ食材についての指導や食教育)を行います。子どもたちに知ってほしい・学んでほしい内容を対話をしながら行っています。
昼休み	時間があるときは、子どもたちと遊びながらコミュニケーションをとっています。
給食の片づけ	給食をどのくらい食べているのか残量を見ています。気になるクラスは担任の先生と話をしながら給食指導につなげています。
授業	家庭科や特別活動(学級活動)等でTTの授業を行っています。
事務仕事	献立作成、食材の発注、食育だより、掲示資料、食物アレルギー対応、委員会活動、食に関する指導の教材研究等の仕事を行います。
退勤	

◆退勤後や休日の過ごし方(私のリフレッシュ法)

出勤前ではありますがランニングをしています。ひと汗かいてから仕事をするとう頭が冴える気がして続けています。週末にはマラソン大会に出走したりして記録に挑戦しています。普段の帰宅後は息子と遊んだりしながらおだやかに過ごしています。



◆山梨県のよさ

全体的に標高が高い為、地場産物が少なく思われがちですが、地域それぞれの特徴を生かした野菜や果物などの農産物が豊富で給食でも活用できる点がよいと思います。山梨県で有名なフルーツ類はもちろん地域によっては各地の農家さんとのつながりが持っていて、地場産物を用いた給食を提供し子どもたちに伝え指導することができます。

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

みなさん知っての通り教員は大変な仕事ですがどんな仕事も大変な時やしんどい時は必ずあります。子どもたちが自分で考えて行動できるようになった時を見たときの達成感は何事にも代えがたいです。子どもたちが今後の日本を支えていくための土台を作り上げてあげることができる唯一の仕事です。ぜひ一緒に働ける日が来ることを願っています。一緒に頑張りましょう！